



No. 180

2025.8.15

6月 定例会

やいづ 未来へつなぐ

議会だより

特集

焼津地区保護司会⇔市議会



ここに注目！

特集：未来へつなぐ

市民インタビューVol.26…………… 1

6月定例会概要…………… 3

市政をただす！一般質問…………… 5

各委員会の議案審査…………… 13





令和6年9月に設置された焼津地区更生保護サポートセンター「ひまわり」
(焼津市本町2丁目12番8号ヴィラマリソール焼津201号室)

犯罪や非行をした人の立ち直りを支援

「焼津地区保護司会」のみなさんへ

議員が直接話を聞いて市民の本音に迫る「市民インタビュー」。
今回は、焼津地区保護司会の皆さんにお話を伺いました。

保護司とは？

現在、焼津市には56人の保護司がいます。法務大臣からの委嘱を受け、犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支える更生保護のボランティアです。保護観察官と協力し、保護観察を受けている人達と月2回程度の面接を行うなど、彼らの相談に乗ったり、指導したりして、立ち直りを支援する活動をしています。また、地域の方々に立ち直りの支援への理解と協力を求める活動も行っています。

最初は保護司となることについて、責任の重大さからとても悩みましたが、保護観察を受けた人が

社会復帰をしようとする過程をサポートする活動は自分の生き方として目指すところと合致するものがあると感じ、家族からも背中を押され、お受けすることとなりました。



会長 北土明宏さん

活動で大変なことは？

保護観察対象者と信頼関係を築くまでが最も大変です。「ほっといて欲しい」という感情から、何度面接しても心を開かない人もいます。そんな時、先輩保護司から言われた「保護司は嘘をつかれてな

んぼ」という言葉を心に留めています。時に嘘をつかれても、相手の性格や状況を考え受け入れ、心が通じるまでコミュニケーションを諦めないという意味だと理解しています。長く保護司を経験しても、最初の面談は緊張し、正直なところ恐怖もあります。ただ、保護司が更生してやろうとか、自分が良くしてやろうという気持ちでは上手いきませんので、人間関係を築き、相乗効果で化学反応を起こすような運びが理想です。

昔に比べると一人の保護司が担当する対象者数は減っていますが、最近はSNS等の影響で犯罪の種類も変わってきており、特殊詐欺などの犯罪もあります。特殊詐欺に関わった若者と面談すると、そもそも犯罪の意識がないこともあり、大きな社会問題だと感じています。

焼津地区更生保護サポートセンターとは？

令和6年9月に焼津市が新たに設置した保護司の活動拠点となる場所です。これまで小規模な活動拠点が、大井川地区にありましたが、利用時間等の制約もあり、面談を自宅や喫茶店で行うこともありました。サポートセンターには十分な大きさの部屋があり、夜間の利用もできることから、活動が格段に行い易くなりました。また、市役所が近いため、公的な相談しやすい環境にあることも良いです。

サポートセンターの設置により保護司会の活動にも活気が出ています。一番大切なことは犯罪者が出ない社会を築くことです。今後は今まで以上にサポートセンターを拠点に地域の人との交流や子ども達への啓発にも力を入れたいと考えています。初めての試みは色々大変ですが、気持ちが盛り上がっており、近く行く試みとして、サポートセンターの周知のため、犯罪や非行のない社会づくりに取り組む保護司のシンボルカ

ラーの黄色にライトアップする計画やケニアの視察団の受け入れ予定もあります。



焼津地区更生保護サポートセンターの外観

これから目標は？

現役世代の若者がもっと保護司の活動に興味を持つて欲しいです。保護司は人生経験の豊富な年配者が適任という意見もありますが、若者は対象者と近い感覚で年配者にはできないような支え方ができると思います。しかし、現実的な問題として、若者に保護司になりたい気持ちがあっても、会社や上司の理解が無くてはできないことです。なので、社会全体で保護司の活動の理解が深まって欲しいです。

保護司の経歴は本当に様々です。対象者に個性があるように保護司にも個性がありますので、活動においては画一的な考え方ではなく、バランスを取りながら保護司会としてまとめることが大切と考えています。焼津地区保護司会は、皆がボランティアであることの趣旨を理解して活動をしている印象があり、年齢や職業などを超えた本当に気持ちの良い同じ目標を持つ仲間としての関係性が築けていると感じますので、ぜひ若者の参加を期待します。



センター長 伊東広子さん

焼津市について感じていることは？

焼津市はコンパクトで暮らしやすい印象があります。港があり外部に開かれているためか、人と人の関わり方が閉鎖的ではない地域

だと感じるので、地域の理解がより深まり、犯罪者を出さない・犯罪者が更生しやすい焼津市になることを願っています。



インタビューの様子
左から伊東さん、北上さん、増井議員、原崎議員

インタビューに答えてくれた皆さん

焼津地区保護司会

会長 北上 明宏さん

焼津地区更生保護サポートセンター「ひまわり」

センター長

伊東 広子さん

定例会 概要

新体育館建設事業費、生活者応援事業費など

合計1億6565万5千円の一般会計補正予算案を可決！

市議会6月定例会は、6月2日から6月27日までの26日間の会期で開かれ、市長提出議案13件、議員提出議案2件を審議し、市長報告事件11件、監査委員報告事件4件を了承

6月2日 本会議第一日

- ・ 静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙
- ・ 人事議案2件を上程し、同意（市長提出）
- ・ 市長専決処分による報告（承認案件）2件を上程し、承認
- ・ 補正予算2件（一般会計1件、特別会計1件）、条例案件2件、一般案件4件を上程（市長提出）

6月17日・18日 本会議第二日～第三日

- ・ 石原孝之議員より辞職願が提出され、出席した議員全員の賛成により辞職を許可。
- ・ 条例案件1件可決（議員提出）
- ・ 一般質問13議員（P5～11参照）

6月19日 各委員会の議案審査

- ・ 各委員会で付託された議案を審査（P13～15参照）

6月27日 本会議第四日

- ・ 6月2日に上程された8議案について委員会審査結果報告を経て、全て可決（P4参照）
- ・ 補正予算1件が追加上程され、委員会審査を経て、可決（市長提出）
- ・ 条例案件1件可決（議員提出）

主な議案の審議結果



焼津市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、条例で定める職員の部分休業制度等について所要の改正を行おうとするもの

全会一致原案可決



令和7年度焼津市港湾事業特別会計補正予算(第1号)案

財源振替

国庫補助金の増額に伴う、一般会計からの繰入金の減額

全会一致原案可決



令和7年度焼津市一般会計補正予算(第2号)案

増額6,565万5千円

◇新焼津体育館建設事業費
4,087万8千円

◇障害者自立支援事務費
874万5千円

◇生活保護運営費
594万円

◇クルーズ船誘致事業費
220万円

◇児童手当支給事業費
77万円
ほか

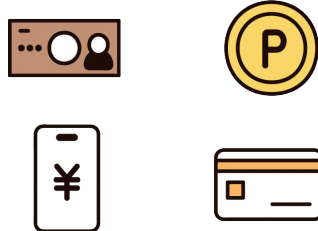
◇債務負担行為(追加)
新焼津体育館建設事業
期 間: 令和8年度~令和9年度
限度額: 27億7千万円

全会一致原案可決



焼津市教育委員会の委員等に対する報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例の制定について
国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の改正に伴い、市選挙管理委員会が選任する選挙長、投票管理者などの報酬の改正を行おうとするもの

全会一致原案可決



令和7年度焼津市一般会計補正予算(第3号)案

増額1億円

市公式LINEに登録した市民を対象に市内登録店舗で利用できるデジタルクーポンを発行する経費の追加

全会一致原案可決



消防ポンプ自動車の取得について

5,566万円

焼津市消防団第2分団及び第12分団が使用している消防ポンプ自動車の老朽化に伴い取得するもの (写真)既存の同種車両

全会一致可決



避難所用自動ラップ式トイレの取得について

3,807万8,700円

避難所における排泄物の保管状況の改善、省スペース化等を図るため取得するもの

全会一致可決



排水ポンプ車の取得について

6,710万円

台風や豪雨による排水被害現場等において緊急排水作業の用に供するため取得するもの

(写真)既存の排水ポンプ車

全会一致可決

市 政 を ^{ただ}質 す !

一 般 質 問

6月定例会では、13議員が一般質問を行いました！

議員個人が市の執行機関に対して、市の事務の執行状況や今後の方針などについて質問を行います。

スマートフォンやタブレットをお持ちの方は、右記2次元コードからもアクセスできるほか、各議員の顔写真下に掲載された2次元コードから直接、議員の映像配信をご覧ください。



南海トラフ地震への 防災対策の現状

Q 平時における大規模地震への備えとして、市が実施する津波対策（海岸堤防・港胸壁・河川の水門等の整備）の進捗状況は。

A 大井川港の胸壁整備については、海岸線から志太田中川までの約1200メートルの整備を計画しており、令和7年度末までに約450メートルの胸壁が完成する見込みである。

さらに、事業期間についても、当初の計画の令和12年度の完成を2年前倒しし、令和10年度の完成を目的に加速して進めていく。準用河川藤守川河口の津波対策については、今年度より津波の遡上を防ぐ具体的な施設の設計に着手をし、令和10年度の完成を目途に着実に整備を進めていく。

物価高騰と市民の暮らしを守る施策の実施

Q 市民や市内の地元商店・事業者も仕入価格高騰に悩んでいる。

市民や事業者に対する具体的な支援策の実施は。

A 令和5年度から市公式LINEを活用したデジタルクーポン事業を延べ8回実施し、即時性や利便性の面で市民から高い評価をいただいた。
物価高騰の影響が依然として続く現状を踏まえ、デジタルクーポン事業を速やかに実施していく。



いけがやかずまさ
池谷和正
(凌雲の会)



水草の対策

Q 環境保全推進事業における才オフサモの防除の計画は。

A 昨年度、確認された中島・飯淵の小河川周辺を対象に特定外来生物防除事業を実施する。

Q 才オフサモの生態上、一般的な防除方法は。

A 拡大力、再生力が強く、僅かな断片から再生する特徴があるので、密度が低下した後も粘り強く対応すること、また、水路を介して下流域や農地に被害を拡大させない必要がある。

Q 一般的な駆除方法は。

A スコップ等で水底の部分を根ごと抜き取る。



下小杉・藤守周辺の小河川の
河川清掃後の水草地

Q その他の水草で大量繁殖している箇所や外来種はあるか。

A 把握していない。

Q 水草について担当している部署は関連する他の部署にチェックするポイントの情報共有をしているか。

A していないが、今後、今回の事業の防除方法等の資料を作成し情報共有したいと考えている。

国際交流

Q ホバート市との交流の意義は。

A 学生の相互派遣や焼津少年少女合唱団ゆりかもめの訪問公演など青少年を中心とした交流事業を実施しており、子どもたちの国際感覚醸成につながっている。

Q モンゴル国チンゲルティ区との交流の発展は。

A スポーツを中心として始まった交流は、中学生同士のオンライン授業の開催、焼津の特産品のPRなど、教育分野や市民、民間における交流も広く発展してきている。



井出哲哉
(凌雲の会)



新港地区水産観光施設再公募と焼津市観光戦略の進捗

Q 昨年11月に参加表明が無く、6月に予定した再公募の要項は。

A 現在課題を踏まえ慎重に検討中。

Q 6月中の再公募はしないのか。

A 時期を含め現在検討している。

Q なぜ計画がずれたのか。

A 参加表明が見込めない段階では再公募できない。

Q 公募で求めた水産加工品の物販及び飲食機能は焼津さかなセンターとバッテリーする。新施設とさかなセンターの関係を明確にすべき課題があるのでは。

A 投資を図る民間企業は、市内の様々な状況を見極めて参加表明を検討されていると考える。



令和6年11月焼津漁港新港地区市単独用地活用事業者公募対象地
(焼津市誘致戦略課作成)

Q さかなセンターとの関係は市民も市内事業者も高い関心がある。公募前に公表すべきではないか。

A 再公募に向けた中で検討する。

Q 観光戦略目標の昨年度の結果は。

A 観光交流客数350万人に対し317万人である。

Q 昨年度の結果分析による課題は。魅力発信と認知拡大に取り組む。

チームオレンジ活動

Q チームの対象者と目的は。

A 対象者である認知症の方とその家族のニーズに合った支援。

Q チームオレンジの活動とは。

A 認知症カフェ等での見守りと、認知症の普及啓発等である。

Q 活動を普及啓発から市内全域でサポートするよう再定義しては。

A 普及啓発に留まらず対象者ニーズにマッチした取り組みを検討。

Q 市内全域で創設する為、高齢者の居場所をチームオレンジに。

A 身近な地域でチームを創出する取り組みが必要と認識している。



ふじおかまさや
藤岡雅哉
(無党派)



好調なふるさと納税の 今年度の進め方は

Q 昨年度以上の寄附額を達成するための取り組みは。

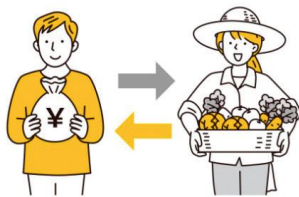
A 引き続き首都圏を中心としたプロモーションを実施するとともに、テレビやSNSなどのメディアを活用して、全国へのさらなる情報発信の強化を行う。

Q 10月からの制度変更の影響は。

A 制度変更による影響はない。

Q クラウドファンディング型ふるさと納税とはどういうものか。

A 新分野へ事業進出するための新たな工場整備や、生産力の向上などを目的とした大規模な設備投資などへの取り組みを支援する。市内産業のさらなる振興及び発展に寄与するものと考えている。



クラウドファンディング型
ふるさと納税(焼津市HPより)



うち だしゅうじ
内田修司
(凌雲の会)



GIGAスクールの状況

Q GIGAスクールの環境整備は。

A 普通教室や一部の特別教室、職員室、体育館など、端末を利用する場所への環境整備は、ほぼ整ってきている。

Q GIGAスクール活用状況は。

A 授業や行事等、学校生活の様々な面で端末が積極的に活用されている。授業での端末の活用頻度は、昨年度の全国学力・学習状況調査の結果では、肯定的な回答が全国平均の約2倍で、高い利用率と言える。

Q Aードリルの利用状況は。

A Aードリルは、学習データを蓄積し、つまずきの原因などを分析することで、児童・生徒個々に最適な解説や問題を提示してくれる。児童・生徒がAードリルの有用性を認識して活用している様子がうかがえる。

気候変動対策に有機農業を！

Q 温室効果ガスの排出量の内、農業分野からの排出割合は約11・9%を占めている。農業におけるメタンや一酸化二窒素の排出を抑えていくことが重要では。

A メタンなどの排出抑制は温暖化防止に効果的だと認識している。

Q 農業者への重要性の訴えは。

A ホームページで秋耕の実施を啓発し、農協等を通じて情報共有している。

Q 現場の生の声を把握して出すことで取り組みやすくなるのでは。

A 環境にやさしい農業をしていくことはとても重要であるが、生産コストの増加や人手不足など様々な課題があり、意見交換しに行っていくきたい。

Q オーガニックビレッジ宣言はいつ頃になるか。

A 今年度は視察と宣言に向けた研修会を予定している。

Q みどりの食料システム戦略では2050年に有機農業面積の割合25%を目標に掲げているが、



あきやまひろこ
秋山博子
(無会派)



本市の割合は。

A 令和6年度は4・16ヘクタールで0・3%である。

Q 進めていくための技術革新は。

A 市では水管理システムやIoTを使った農業経営を補助しており、環境保全型農業を進めながら、新しい技術を農業者に紹介、支援しながら進めていく。

Q CO₂の土壌固定化の重要性について、有機農業による土壌の還元やバイオ炭の活用は。

A バイオ炭の活用は、国において利用拡大に向けた研究開発が進められており注視していきたい。



焼津市内の田んぼ風景を6月中旬に撮影

自転車・歩行者が安心して 通行できる道路の維持管理を

Q 住民からの通報による道路等の諸依頼への対応を迅速にしているが、市内の路面状況等をいま一度見直し、小規模な舗装修繕や全体的な舗装修繕工事を行うことはどうか。

A 小規模な舗装修繕は、職員の道路パトロール等で把握し速やかに対応している。また、全体的な補修については、主に幹線道路の路面状況に応じて舗装の打ち替えを計画的に実施し、安全で円滑な通行の確保を図っている。



市民からの情報が1番です。
(焼津市道路情報提供ページ通報フォーム)

地域公共交通確保のための 取り組み強化を



おかだ みつまさ
岡田光正
(無党派)



Q 地域の移動手段を確保するための路線の維持と利便性向上や将来のまちづくりと連携した公共交通ネットワークの構築の方針は。

A 焼津市地域公共交通計画の基本の方針である「市民が暮らしやすく 誰もが移動しやすい 交通環境が充実したまち やいづ」の実現に向けて取り組んでいる。

外国の方の国保加入状況

Q 外国人の国保加入手続について、どのような資格審査が行われているか。

A 原則として、在留期間が3か月を超える方については法令により国保加入を義務づけているが、3か月以内の方についても在留資格を審査した上で国保加入が認められる場合がある。

Q 今後の未納防止への対応方針は。
A 国が示す取扱い方針等に沿って、適正に事務を進めていく。

避難生活における良好な生活 環境の確保に向けた指針の改定

Q トイレの確保・管理について、今回の改定を受けて、国際基準であるスフィア基準に関する本市の認識は。

A 昼夜問わず、誰もが安心・安全に使えるトイレとされ、衛生環境を整えることがスフィア基準の本質的な目標であると認識をしている。

Q スフィア基準に基づくトイレを20人に1基とする取り組みについての見解は。

A 避難者20人に1基を満たす数を確保していく方針である。
Q 自動ラップ式トイレの今後の追加配備の計画は。

A 能登半島地震においても、その機能や効果が評価されていることや本市の自主防災会の皆さまからも同様の御意見をいただいており、引き続き積極的に整備を進めていく。

Q 2月の代表質問で中学校の屋内運動場のトイレの現状について伺った以降に進展があったか。



すずき ひろし
鈴木浩己
(公明党議員団)



A 御指摘の屋内運動場のトイレの洋式化については、来年度から3年間をかけて、洋式化を行うという計画を立てているところである。

食事の質の確保

Q センtralキッチン方式の調理施設として、学校給食センターの活用についての考えは。

A 大規模な調理施設を活用し、温かく栄養価の高い食事を提供する取り組みであることから、今後、学校給食センターをはじめ、本市の実情に沿った仕組みづくりを進めていく。



災害時の食事の提供を
セントラルキッチン方式に！
(焼津市学校給食センターの様子)

相川・西島地区と上新田地区 での整備事業



むら た ま は る
村田正春
(自由みらい)



Q 土地開発のコンサルタント会社と締結した公民連携協定により

期待される、地域にとってより良い土地利用の効果とは。

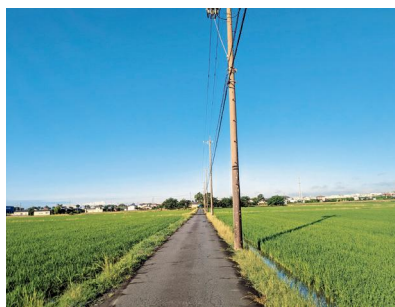
A 協定を結ぶことで、地権者や耕作者、地域の声に配慮した土地利用が図られる。

Q それぞれの業種の何社が進出を希望しているのか。

A 上新田地区は、6区画の用地が計画され、進出希望企業は電子精密機械製造業と観光宿泊施設の2社で、他の4区画は調整中。

Q 相川・西島地区は、4区画に食品製造業が3社、輸送機械製造業1社の進出希望がある。

A 相川・西島地区は、4区画に食品製造業が3社、輸送機械製造業1社の進出希望がある。



相川・西島地区の田圃風景

Q 今後どのような行程で事業を進める計画か。

A 令和7年度中に農地に関する手続き、令和8年度に土地利用や開発などの手続き、現地の造成工事等については令和8年9月頃を見込んでいます。

発達に支援が必要な子の 早期発見と支援

Q 5歳児健診の実施予定は。

A 子どもの成長を見守りながら、保護者や保育者に寄り添い、困り事や心配事に丁寧に対応していることで、5歳児健診については国の動向を注視したいと考える。

Q 発達に支援が必要な子の支援は、得意なこと、苦手なことに気づき、得意なことは伸ばし、苦手なことは克服できるよう保護者、保育者、教員が協力し合い、専門家の意見も聞きながら長い目で見守ることが大切と考える。

学校給食のより安全で安心な 食の環境を



すず き
鈴木まゆみ
(無会派)



Q 野菜、肉、魚の輸入食材の産地と使用率はどれくらいか。

A 野菜が韓国産で5・3%、肉がオーストラリア産で4・0%、魚が主にノルウェー産で31・4%であった。

Q 食材、加工食品の調達基準に、無添加、低添加、無農薬、減農薬を設定する考えはあるか。

A 学校給食法等に基づき食材の選定を行い、市単独での基準は考えていない。

Q 献立表に食品添加物の使用の有無や種類についての明示をする予定はあるか。

A 献立表への食品添加物の明示については考えていない。

Q 市民参加型予算制度、パブリックバजエットの導入

Q 予算編成過程における市民参画の現状と課題をどのように分析しているか。

A 総合計画と行政評価及び予算が連動する行政経営システムの中

で、毎年度実施をしている総合計画に関する市民意識調査や市公式ラインによるアンケートなどで寄せられた市民意見を行政経営方針及び予算編成方針に反映し、これらの方針に基づき予算編成を行なっている。

市民参加型予算制度、 パブリックバジエットの導入

Q 予算編成過程における市民参画の現状と課題をどのように分析しているか。

A 総合計画と行政評価及び予算が連動する行政経営システムの中



Q パブリックバジエット制度についてどのように評価されるか。

A 導入している自治体が限られていることや、住民の参加率が低いことなど課題が多くある。

地域未来投資促進法に基づく 焼津市の基本計画の状況

Q 焼津市産業立地ビジョンにおいて計画が進んでいる地域は。

A 大井川地域で5か所、大富地域で1か所、北部地域で1か所、民間事業者による計画が進められている。

Q 地域未来投資促進法に基づく支援とは。

A 法人税等の税制控除や日本政策金融公庫から固定金利での貸付を受けることなどがある。

Q 焼津市産業立地ビジョンの市街化調整区域での検討とは農用地区域の青地を含むか。

A 青地を含む農地で検討する。

Q 農地の多面的機能を失うことについての見解は。

A 開発基準や土地利用対策委員会の中で雨水調整機能や緑地等設置の指導をする。

Q 基本計画で農地がさらに減っていくことについての見解は。

A 農地集積・集約化推進等により農業生産力向上を目指し、農業振興を図っていく。



すぎたげん ちろう
杉田源太郎
(日本共産党市議会議員団)



Q 市街化調整区域で「産業用地を確保」と「農業生産を十分に考慮する」ことに矛盾はないか。

A 農業、水産業、商工業等の産業は経済生活を支える柱であるとの認識の下、共に振興を図る。



大井川西小学校とSIC間の青地
(計画されている地域)

原子力防災対策

Q UPZ圏内の屋内退避の避難計画の見直しは。

A 国が運用の考え方をまとめるので、動向を注視していく。

Q 8時間以内の安定ヨウ素剤配布問題の研究は進んでいるか。

A UPZ圏内の他市町の事前配布状況の調査をしている。

子育て支援体制

Q 保育士の働き方と質の維持において焼津市独自の取り組みは。

A オールやいづ☆ねっこプロジェクトを展開し、質の高い乳幼児教育を目指して、継続して研修を実施することにより、保育者の資質向上を図っている。

Q もう少し具体的な説明を。

A 市内の公立・私立48園の枠を超え、全ての保育者が同じ目指す子どもの姿に向かって協議、研修する場がある。

年に数回研修を行っており、一番参加者数が多いところでは、乳幼児教育研修会で約300人が参加した。

Q 保育ICTシステム導入に向けた具体的な案はあるか。

A 民間保育所では9園中7園、小規模保育事業所では18園中17園で既に導入済み。公立保育園では今年度1園で先行導入し、今後、順次導入を進める。

機能としては、園児の登降園の管理、アプリでの欠席連絡、お



はらざきひろかず
原崎洋一
(自由みらい)



便りの一斉配信などがある。

Q 放課後児童クラブで希望のクラブを利用できない場合はあるか。

A 定員超過により入所できなかった児童には、同学区内の空きのあるクラブを案内し可能な限り受入先の確保に努めている。

Q 定員増の施設整備などの計画はあるか。

A 焼津西小学校区のゆりかご西クラブ、ゆりかもめにおいて、定員増のための施設改築を計画していて、令和8年4月から開所予定である。



放課後児童クラブ
(ゆりかご豊田クラブ・サン)

防犯灯LED照明の 財源負担軽減と支援策

Q LED化の経緯と今後の維持管理の必要性についての見解は。

A 防犯灯は、一旦、焼津市が引き取り、公費によりLEDに更新した経緯がある。LED化で、電気料金等が大幅に削減できたため、次期更新に備え、一定額の積立てを自治会にお願いしてきた。防犯灯は、地域の要望に基づき、自治会が設置するものであることから、所有者である自治会が維持管理を行うものと認識している。

Q 自治会や実際に維持管理を行う団体が直面する実情を真摯に受け止めた上で、防犯灯の財源負担軽減に向けた支援策を講じることに関し市長の見解は。

A 物価高騰もあるため、現状を改めて把握していきたい。



事故なく、夜間を照らしてくれることが市民の安全安心！



おくがわきよたか
奥川清孝
(自由みらい)



二地域居住の促進を！

Q 「二地域居住」とは、主たる生活の拠点とは別に特定の地域に、もう一つ居住拠点を設けるライフスタイルを指すが、経緯と具体的な内容は。

A 国のモデル事業に申請し採択されたものであり、スタディーツアーや実証事業、地域交流の促進等を予定している。

Q 改正法において、二地域居住が定義され、市が主体となり推進できるようにしたが、国の財政支援や優遇措置など、具体的なメリットは何か。

A 地方自治体が実施する施策に要する経費に対し、今年度から特別交付税が措置されている。その他、空き家対策総合支援事業や社会資本整備総合交付金、第二世代交付金において重点的に支援を行う。その他、建築基準法の特例、地域住宅特措法の特例などが講じられている。

広水（大井川広域水道用水） 改め、水道料金の値下げを

Q 本市は広水を混ぜなくても十分供給できる。物価高騰から市民生活を守るために、年4億円もの広水を見直し水道料金の値下げをすべきではないか。

A 今後人口減少に伴う給水収益の減少や水道施設の耐震化等の維持管理の費用が増加し、経営環境の厳しさが想定されるが、安全・安心でおいしい水を未来につなげるために、健全な事業運営に取り組んでいく。

Q 焼津市水道ビジョン・経営戦略2020中間見直しでは、料金改定を令和8年度で29・6%行うとある。水道料金の値上げを考えているということか。

A 近年の物価高騰や人件費の高騰があり、水道事業の経営もかなり厳しい状況である。

買物弱者の実態調査と対策支援

Q 社会福祉法人焼津市社会福祉協議会の中部地域包括支援センター、生活支援コーディネー



ふかだ
深田ゆり子
(日本共産党市議会議員団)



ターのアンケート結果はどうか。

A アンケートは小川地区のスーパーマーケットの閉店前に実施。主な回答は別のスーパーマーケットへ自力で行けない。結果は焼津及び小川地区の地域支援合い協議体で共有され、同コーディネーターにより地域の通いの場に移動販売を呼び込む等調整が進められている。

公園トイレの洋式化整備を！

Q 公園トイレの洋式化の計画は。

A 都市公園全体では、224基中108基で48%である。既存トイレの老朽化の状況や利用頻度等を総合的に勘案していく。



焼津市内公園の和式トイレ

議会 ワンポイント解説



「代表質問」・「一般質問」とは？

代表質問…会派の代表議員が、市長の施政方針や市政全般について質問をします。焼津市議会では2月定例会のみ実施しています。

一般質問…議員個人が、市民の声などを反映させるため、市の執行機関に対して、市の事務の執行状況や今後の方針などについて質問をします。年4回（2月、6月、9月、11月）の定例会で実施しています。

●その他、質問の違い

	代 表 質 問	一 般 質 問
質問方法	一括 ^{*1}	一括もしくは一問一答 ^{*2} （選択制）
質問時間 ^{*3}	30分以内	30分以内
質問回数	3回以内	一括の場合は3回以内 一問一答の場合は無制限

*1 「一括」・・・複数の項目を1回の発言でまとめて質問し、まとめて答弁をもらう方法

*2 「一問一答」・・・1項目ごと質問し、その都度、答弁をもらう方法

*3 「質問時間」・・・議員が発言している時間の合計（執行機関側の答弁時間は含まない）

全国市議会議長会表彰 東海市議会議長会表彰

令和7年4月に開催された「東海市議会議長会総会」及び5月に開催された「全国市議会議長会総会」において、市議会議員として市政の発展に寄与した功績のあった村松幸昌議員、杉田源太郎議員、石田江利子議員に表彰状が授与されました。

一般表彰 議員10年以上

- ・・・杉田源太郎 議員（写真左）
- ・・・村松幸昌 議員（写真中）
- ・・・石田江利子 議員（写真右）



災害時における避難所生活に安心を

～自動ラップ式トイレを避難所へ追加配備～

避難所用自動ラップ式 トイレの取得

Q ラップ式トイレにはいくつかの種類がある中で、今回の機種を選択した理由は何か。

A 今までも今回と同じ機種を購入して避難所に配備しており、使用方法が異なることによる混乱が起きないようにするとともに、臭気などの環境保全項目を第三者機関で証明していることなどを評価して、当該機種を選定した。

Q 購入数はどのように決めたのか。
A 現状は各避難所に1台ずつ配備しており、スフィア基準を考慮し、各避難所に4台追加して5台体制にする。男性用1台、女性用3台、多目的用1台としての利用を想定している。

Q 避難所の総数からすると、今回の購入数で各避難所に4台ずつ追加配備ができるのか。

A 今回の購入数では全ての避難所に追加配備できないため、次年度以降も交付金を活用して追加配備することを検討している。



自動ラップ式トイレ

Q 汚物を包むフィルムは何回分あるか。また、フィルムだけの購入ができるか。

A 本体に250回分のフィルムが付属している。消耗品として、1セット50回分のフィルムが購入可能である。

Q 自動ラップ式であるため電源が必要だと思うが、モバイルバッテリーなどが付属するのか。

A 本体にはバッテリーが付属しているが、コンセントから電源を取ることも可能である。

消防ポンプ自動車の取得

Q 昨年度は水槽付き消防ポンプ自動車を購入していたが、今回購入する消防ポンプ自動車との違いは何か。

A 水槽付き消防ポンプ自動車は、消火栓が無くても迅速に初期消火が可能であり、消火栓の有無や狭あい道路等の状況など、地域の特性に応じてそれぞれ運用している。

Q 消防ポンプ自動車の更新目安はどのくらいか。

A 消防用車両の安全基準検討会で自動車メーカーと機装業者で使用期限を15年と定めており、運用開始から15年を目安としている。

焼津市職員の育児休業等 に関する条例の一部を改 正する条例の制定

Q 今回の改正によって休業の取得率は上がると考えているか。

A 今回の改正で1日単位での取得が可能になり、突発的な行事等に対応したい職員が利用しやすい制度になると考えている。

水害に備え新たに排水ポンプ車を取得

～ 既存の車両と合わせ2台で市内全域をカバー ～

排水ポンプ車の取得

Q 新たに購入する排水ポンプ車の稼働予定と既存の排水ポンプ車の稼働状況は。

A 既存の排水ポンプ車と2台体制で、市内全域を対象として運用していく。また、既存の排水ポンプ車は過去3年連続で出動している。

Q 排水ポンプ車の配置箇所は。

A 保管場所は現在検討中であるが、出動が予想される箇所を踏まえ、迅速に対応できる場所を調整している。

Q 令和7年度予算になるのか。

A 納期が令和8年5月となることから、債務負担として、令和8年度予算に計上していくものがある。

Q ポンプのオプションとして、毎分5立方メートルの排水が可能なポンプ2台を搭載できるとされているが、購入予定は無いということでしょうか。

A そのとおりである。導入する排水ポンプ車は、毎分30立方メートルの排水能力がある。

焼津市道路線の認定

Q 柳新屋村中3号線のこれまでの位置付けは。

A 法定外道路として管理していたが、事業者からの建築計画に伴う道路種別の確認で未認定を確認、現地確認を実施し、市道としての認定要件を満たしていることが確認できたため認定するものである。

Q その道路の南側に続く道路も法定外道路となるのか。

A 法定外道路ではなく、指定道路である。

Q 認定道路、法定外道路、指定道路とあるが、その違いは何か。



既存の排水ポンプ車

令和7年度焼津市港湾事業特別会計補正予算 (第1号)

Q 航行安全調査の契約方法は。

A 港湾関係の調査業務に携わっているコンサルタント会社を選定し、指名競争入札にて手続きを行っている。

Q 航行安全調査のほかに実施する業務はあるか。

A 今年度は航行安全調査を予定しているが、そのほかに今後の予定として係船柱の改良を行う。

A 認定道路は道路法における道路であるが、法定外道路は市町村などの自治体が所有しているものの、市道などの公道として正式に認定されていない道路である。指定道路は、建築基準法上の道路であり、建築物を建てる際にその敷地が接する必要がある道路である。



新焼津体育館の建設へ！

市民スポーツ・武道競技の拠点施設を整備

新焼津体育館建設事業費

Q 事業費の総見込み額はいくらか。

A 新体育館の建設に関する事業費として、令和7年度に4087万8千円、令和8年度から令和9年度までの債務負担行為として27億7千万円の予算を計上している。また、その他にも、令和8年度に、太陽光発電設備工事や体育器具等の備品購入を予定している。

Q 物価高騰の影響を受け、設計内容の見直しは行ったのか。

A 機能を損なわないデザインの部分について壁の仕様を一部変更するなど行ったが、体育館の機能に関する部分の変更は行っていない。

Q 建設する新体育館の情報は市民に公表しているのか。

A 具体的に部屋ごとの面積等の情報は公表していないが、令和6年10月の広報やいづや市ホームページで、新体育館が備える機能について公表している。

Q 現在の体育館の利用者から、これまでどおりの活動ができるのかを心配する声があるが、現状の機能は残るのか。

A アリーナや卓球場など、これまで有していた機能は残る。



新焼津体育館完成イメージ図
(焼津市HPより)

生活者応援事業費

Q 配信するデジタルクーポンの内容と実施スケジュールは。

A 千円以上の会計で使える500円クーポン、2千円以上の会計で使える千円クーポンを、各1回分配信する。実施期間は、7月下旬から8月上旬までのうちの10日間を予定している。

クルーズ船誘致事業費

Q 観光コンテンツの具体的な中身は。

A 市内に滞在していただくために、主に市内の水産資源を活用したコンテンツ、あわせて近隣市町も含めたコンテンツも考えている。市内の水産資源を活用したコンテンツでは、水揚げで魚の採れるところから、その後の競りの様子を見学、さらには採れた魚を実際に食事できるところまで体験できるような一連のコンテンツの商品化を考えている。



令和8年度末にクルーズ船の寄港を予定する大井川港

政務活動費の実績について

Q 政務活動費とは？

A 会派が行う、市政に関する調査や研究を行うための調査費として議員に交付しています。焼津市では議員1人当たり30万円（年額）を上限として会派に交付しており、使用されなかった分は市へ返還します。（交付上限額を超過した分は自己負担です。）

令和6年度の実績一覧（会派ごと）

■ 凌雲の会（交付額293万4,089円 ※） 実績額 168万4,498円

①調査研究費135万2,901円 ②資料作成費 4万3,471円 ③資料購入費 9万6,960円
④事務所費19万1,166円

※凌雲の会は、年度当初、12人を対象に交付しておりましたが、12月に、自由みらいへ4人の会派異動があったため、1月以降の交付額について、焼津市議会政務活動費の交付に関する条例第4条第3項第2号に基づき調整を行いました。

■ 自由みらい（交付額66万5,911円 ※） 実績額 58万1,031円

①調査研究費 1万3,438円 ②広報費33万5,225円 ③資料作成費 7万6,849円
④資料購入費 7万70円 ⑤事務所費 8万5,449円

※自由みらいは、12月に凌雲の会から異動した4人で新たに結成された会派であることから、1月以降の交付額について、焼津市議会政務活動費の交付に関する条例第3条第3項第1号に基づき算定を行いました。

■ 日本共産党市議会議員団（30万円×2人＝交付額60万円） 実績額 47万453円

①広報費21万3,846円 ②資料作成費17万6,234円 ③資料購入費 8万373円

■ 公明党議員団（30万円×2人＝交付額60万円） 実績額 9万600円

①資料作成費 4万660円 ②資料購入費 4万9,940円

■ 無会派（鈴木まゆみ）（交付額30万円） 実績額 0円

■ 無会派（藤岡雅哉）（交付額30万円） 実績額 29万9,912円

①調査研究費3,240円 ②研修費 5万1,320円 ③広報費20万1,025円
④広聴費400円 ⑤資料作成費 2万7,928円 ⑥資料購入費3,000円
⑦事務所費 1万2,999円

■ 無会派（石原孝之）（交付額30万円） 実績額 19万7,940円

①研修費 3万9,100円 ②資料作成費15万8,840円

■ 無会派（岡田光正）（交付額30万円） 実績額 17万4,150円

①資料作成費12万6,777円 ②資料購入費 4万7,373円

■ 無会派（秋山博子）（交付額30万円） 実績額 30万8,280円

①研修費16万5,800円 ②資料購入費14万2,480円

詳細は、市議会ホームページで公開しています。
ぜひご覧ください。



※「事務所費」は、コピー機のリース代などです。

常任委員会行政視察報告

◎総務文教常任委員会(令和7年5月15日～16日)

視察報告書は議会ホームページでご覧いただくことができます。
(アップロードまでお時間をいただくことがあります。)



◇災害時避難行動要支援者の避難対策(新潟県柏崎市)

災害時等に、自ら避難することが困難な在宅の高齢者や障がいのある方(避難行動要支援者)を支援するために「避難行動要支援者登録制度」を整備。



◇小中一貫教育(新潟県三条市)

義務教育9年間を連続した期間と捉え、市内全ての小中学校を併設型に移行し、一貫性のある学習・生活指導により、系統的・継続的な教育活動を実現。



◎建設経済常任委員会(令和7年5月15日～16日)

◇日本版ライドシェア事業・乗合型AIオンデマンド交通(埼玉県行田市)

日本版ライドシェアにより夜間における市内、近隣駅からの移動手段を確保。また、市内の公共交通を再編し、AIを活用した乗合型の公共交通を新たに導入。



◇海業の取り組み(神奈川県三浦市)

PPP(官民連携)による多機能観光施設「うりマルシェ」の整備、空き地や埋立地を活かしたリゾート開発などの取り組み。



第58回焼津市議会議長旗争奪 サッカー定期戦

6月14日、あいにくの雨の中、「第58回焼津市議会議長旗争奪焼津水産高校対焼津中央高校サッカー定期戦」が市宮陸上競技場で開催されました。

雨に濡れた芝に苦戦しつつも、試合開始から中央高校がボールを支配し、何度も水産高校のゴールに迫る展開でしたが、逆に水産高校が前半なかばにフンチャンスを活かし先制します。その後、前半終了間際に中央高校が追いつき、勝負は後半戦へ。

後半、雨がさらに強まる中、中央高校の粘り強い攻撃が続き、ゴール前の混戦から一瞬の隙をつき、スライディングシュートで逆転に成功します。雨天の厳しいコンディションでしたが、その後も中央高校は安定した試合運びで、終了間際にも追加点を挙げ、試合は3対1で中央高校の勝利となりました。

雨の中、応援に駆けつけた多くの観客も一生懸命な選手の姿に大きな歓声を上げていました。

優勝した中央高校の皆様、おめでとうございました。



伝統の一戦
水産高校 VS 中央高校

両校サッカー部のさらなる活躍を期待しています!

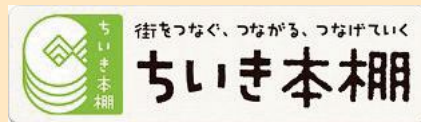
小学生が議場を見学



5月28日、焼津東小学校の6年生が「私たちの暮らしを支える政治」の学習のため、議場の見学に訪れ、議長から焼津市議会の役割などの説明を受けました。

議会だよりは 電子書籍「ちいき本棚」 からご覧いただけます！

日本全国の広報紙や議会だよりなどをインターネット上で読める「ちいき本棚」へ掲載しています。



スマートフォン・タブレットをお持ちの方は、右の二次元コードから直接、議会だよりのページにアクセスいただけます。



9月の市議会



日程は変更になる場合がありますので、最新の情報はHPなどでご確認ください。

本会議の様子は、インターネット中継でもご覧いただけます。

日	曜日	内 容	開会時間
9/1	月	本会議（議案の上程）	9:00
9/17	水	本会議（一般質問）	9:00
9/18	木	本会議（一般質問）	9:00
9/19	金	本会議（一般質問・質疑）	9:00
9/22	月	委員会	9:00
9/24	水	委員会	9:00
9/30	火	委員会	9:00
10/2	木	本会議（委員長報告・質疑・討論・採決）	9:00

編 集 後 記

長年夏の風物詩となってきた焼津海上花火大会が秋開催となりました。お盆としては少し寂しい思いもありますが、猛暑対策の一つの新しい流れです。時代は変化していきます。

市民と市議会をつなぐ市議会だよりですが、やいづ市議会広報特別委員会では今後の市議会だよりのリニューアルに向けて、市民アンケートを行います。

前回のリニューアルから7年が経過し、より読みやすく市民に寄り添った市議会だよりを目指していきます。

（内田）

やいづ市議会広報特別委員会

内田修司、原崎洋一、井出哲哉、増井好典、川島要、深田ゆり子

